

さんぽみち



連絡先

鶺の木特別出張所

☎ 3750-4241

発行 わがまち大田鶺の木地区推進委員会

地震から学ぶ

—忘れていませんか防災対策—

東調布消防署 警防課

防災指導担当係長 高橋伸行

今年、日本列島では、十一年ぶりにマグニチュード7を超える地震を経験することになりました。

一月十五日に釧路沖地震、七月十二日は北海道西南沖地震が北海道を震源として発生しました。

東京では、関東大震災以来、このような地震災害は発生していませんが、大きな地震がいつ起きてもおかしくない状況にあるといわれ、私たちにとって決して無関心ではられない問題です。

地震による被害を最小限度に抑え止めるためには、住民一人ひとりが冷静に適切な行動がとれるかどうか極めて重要です。

そこで今年、日本で起きた地震災害を教訓として私たちはどのような対策をとっておけばよいのでしょうか。

●「地震火を消せ」を徹底する。
釧路沖地震では、十一件の火災が発生し、その多くは灯油ストーブなど暖房器具からの出火でした。日頃から火災をださないような環境づくりを努めるとともに、万一出火したら消火できるような消火器具を準備し訓練しておくことが必要です。(平成四年、消防に関する世論調査の結果、消火器の設置率は56%)

●家具類の転倒・落下防止の徹底をはかる。
釧路沖地震では、家具が倒れたり、ストープの上へのせたやかんの湯をあびるなどによりけがとやけどをする被害が発生しました。

地震の際、自分の身を守るために、家具が転倒しないように金具で止めたり、物が落下してけがをしないような安全な環境づくりをしておくことが必要です。(釧路沖地震の際、都民に対して行ったアンケート調査結果では転倒防止の措置をしていた世帯23%)



●自主救護能力を向上させる。
南西沖地震では、釧路沖地震と同様に傷者も多く発生しました。

釧路市内の負傷者の多くは自分の力で病院に行きましたが、治療が受けられるまでには長い時間がかかりました。
地震の後には多数の負傷者が発生することが予想されます。防災訓練に参加して、簡単なけがの手当てなどができるようにしておく



ことが必要です。(平成四年、消防に関する世論調査の結果、防災訓練に参加した率49%)

●ライフラインの停止に備える。
大きな地震が発生すると、ガスや水道、電気など都民生活に直結するライフライン施設が大きな被害を受け、復旧に時間がかかるおそれがあります。

関東大震災の再来を前提として平成三年九月の「東京における地震被害の想定に関する調査研究」によるとライフラインの停止期間
は◇電気、四〜六日◇水道、四〜十七日◇電話、十六〜二十日◇ガス、十八〜二十六日◇下水道、二十〜六十六日と予想されています。

そこで、普段から防災訓練による救護活動が行なわれるまで、万一に備えて食料、水、燃料などの非常用品の三分の二のほかに、携帯ラジオや懐中電灯などの準備をしておく必要があります。

以上のように被害を最小限に止めるには、常日頃、大地震は必ず起きるという意識を持ち、「自分で自分の身を守る」とことと併せて地域の災害環境を把握して対応をしておくことが災害に強い防災コミュニティをつくることになるのです。

千鳥ニュース
八月二十一・二十二日の夜、御獄祭りのはやしの音が、静かな街並からにぎやかに、力強く響いた。夕方の六時半、浴衣姿の踊りの輪が徐徐に広がり、炭坑節や新東京音頭になると、その輪は二重・三重の大きなうねりとなった。



その日は、久が原南一丁目、矢口北・中・千鳥北・南町会から人々が集まり延べ二千二百名参加。特に小さい子どもや、車いすのお客様を迎えたことは喜びだった。区からも木村部長・遠藤所長様や、お客様との交流による花の様な踊り……。これらは利根川精機跡地を使用した、大田区の配慮の賜物から生まれたものである。ここに深く感謝し、区の繁栄を祈り、私共忘れ得ぬ祭りとなった。(R・O)

鶺の木地区運動会のお知らせ

日時：平成5年11月14日(日)

午前10時～午後3時

場所：大森第七中学校グラウンド

▲雨天の場合は 11月21日(日)

に実施します

この「さんぽみち」は 再生紙を使用しています

(裏)

わがまち有名入

私の父 石田稔春

南久が原二丁目 藤田 和子

大正10年生まれのお父は、終戦後25歳で祖父の代からの職を営み現在に至っています。

職の仕事は、土地をならしたり、工事がしやすいように足場を組んだり、家を建てる前の基礎工事が主で、また上棟式や冠婚葬祭では木遣り唄を披露することもあります。

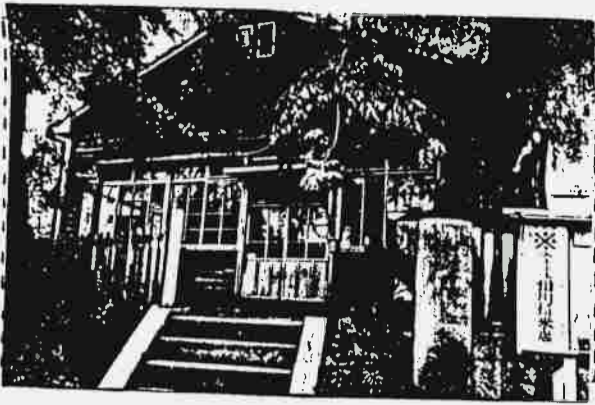
父は、72歳とは思えないほどのノドの持ち主で、たまに聞く木遣りの声に、娘の私もしばしば聞き入ります。

おじいちゃんですが、いつまでも元気な顔役として頑張っています。

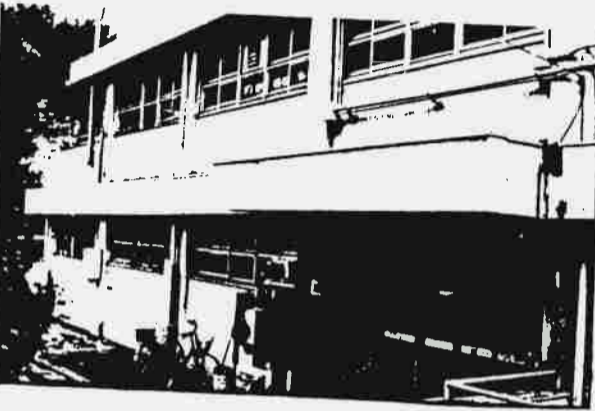
お母さん

現在、南久が原二丁目30番5号に現在の建物は、昭和39年11月に完成した。以前は、成し、住民票、印鑑証明書などの発行業務等を行っています。

昭30年頃の鶺の木特別出張所



現在の鶺の木特別出張所



町会マップ 鶺の木出張所管内

白山神社 開

南久が原 文

東調布第三小

八幡神社 開

鶺の木出張所

藤森稲石 開

千鳥児童館

鶺の木東町会の巻

H.5年1815世帯
41
現在4110人

南久が原2丁目
南久が原1丁目の一部
鶺の木1丁目の一部
西嶺町の一部

町会長 佐藤大助
副会長 石田稔春
池田進太郎
久保井久子

東調布第三小学校
校長 木村俊彦
PTA会長 佐藤孝光

リレーエッセイ

鶺の木二丁目町会の紹介

昭和12年9月、当町会は発足した。当時は大森区で、鶺の木三丁目も含まれていた。町会会館は昭和14年2月に完成、昭和58年8月に現会館となる。本年新会館建設十周年祝賀式を10月24日、大田区長を初め多数の来賓を迎えて挙行する運びとなっている。町会活動として、毎月の町会報の発行、御嶽神社祭礼、年3回の鶺の木奇席、古紙回収、第2土曜日毎の映画会、多摩川鶺の木太鼓の練習、ことに会報は五三〇号が発行され44年2ヶ月間続けられている。

全ては町内の融和を目的とされていることは言うまでもない。

次回、鶺の木三丁目の 鈴木善正さんです。

俳句

秋ふかし 二筋三筋 飛行雲 矢作竹四郎

一望の 秋の十和田湖目守りけり 平井源太郎

徹夜明け 寝るも惜しき鶺日和 鈴木知恵子

読経の声澄みてきし秋の朝 齊藤守市

笹竹の鶺生き生きと贈られし 西野ハルエ

はげ釣りに美酒酌み交わす 友来たる 丸山子工

各地で発生している災害に胸を痛めます。災害はいつ起こるかかわりません。そこで地域の皆様にとりだけは知っていてもいいと思います。願わくば東調布消防署の高橋指導係長さんに原稿を依頼しお話しを伺いました。今、一人一人が認識を深めて災害に備えて下さい。それは、とりもなおさずあなたの生命と財産を守ります。(S・I)

鶺の木特別出張所管内		
人	男	10,746
口	女	10,779
世帯数		9,841
10月1日現在		